

AI搭載 クラウド型Wi-FiでNTTコム的事業、顧客を支援するジュニパーネットワークス

米 Juniper Networks
エンタープライズ担当上級副社長
スジャイ・ハジェラ氏

NTT コミュニケーションズ株式会社
取締役 データプラットフォームサービス部長
佐々倉 秀一氏

AIドリブン技術を基軸に、「AIドリブンエンタープライズ」ビジョンに基づく事業展開に注力するジュニパーネットワークス（以下、ジュニパー）のスジャイ・ハジェラ上級副社長と、「DX Enabler[®]」としてデータの利活用を基軸にした事業を推進するNTTコミュニケーションズ（以下、NTT Com）の佐々倉秀一取締役のお二人に、今後の事業展開について対談していただいた（編集部）。



スジャイ・ハジェラ氏

運用の簡素化とUXの向上にAIドリブンのWi-Fi技術で貢献

ハジェラ はじめに、グローバルキャリアとしてかなり以前からジュニパーと緊密なお付き合いをいただいているNTT Comさんに日頃のご支援を感謝申し上げたいと思います。弊社の最近の状況ですが、特筆すべきは昨年4月、AI技術を活用したクラウド型の無線LANソリューションを手がけるベンチャー企業のMist Systemsを買収・統合したことです。統合後も継続してAIをベースにした機能拡張を続け、「エンド・ツー・エンドのAIドリブンエンタープライズ」ビジョンの実現を目指していま

す。Juniper Mistは、エンドユーザーの体感品質（UX）にフォーカスしたソリューションです。爆発的に増加する接続ユーザーやデバイスの数を考えると、Wi-Fiを含めたエンド・ツー・エンドのネットワーク基盤の運用効率化とUXの向上にはAIの活用が不可欠です。このソリューションは、エンタープライズ向けネットワークソリューションを提供されるNTT Comさんのビジネスの付加価値を高めるものと確信しています。加えて、この革新的なアーキテクチャを日本市場で紹介してくれる最良のパートナーは、NTT Comさんだと思っています。

DX Enablerとしてお客さまのDX実現への貢献を目指す

佐々倉 NTT Comは昨年4月、「ITを活用してさまざまな社会課題を解決できる世界『Smart World』の実現を目指す」とのビジョンを掲げ、顧客企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支援する戦略を打ち出しました。この戦略の中核に位置するのが、私が率いるデータプラットフォームサービス部が開発・提供



佐々倉 秀一氏

を担う「Smart Data Platform（以下、SDPF）」です（図1）。

DX実現の鍵はデータの利活用です。ネットワークを通じてクラウドや拠点を行き交う「多様なデータ」を効率的に捉え、効果的に利活用いただくために必要なインフラや機能を、SDPFはワンストップで提供します。その方針をさらに推進するにあたり、本年4月には従来の機能別組織から、エンド・ツー・エンドでお客さまのデータをしっかりとモニターし、必要な施策が迅速に打てる構造へと組織を見直しました。

Juniper Mistのデータドリブンでエンド・ツー・エンドにおけるUXを向上させるというコンセプトは、

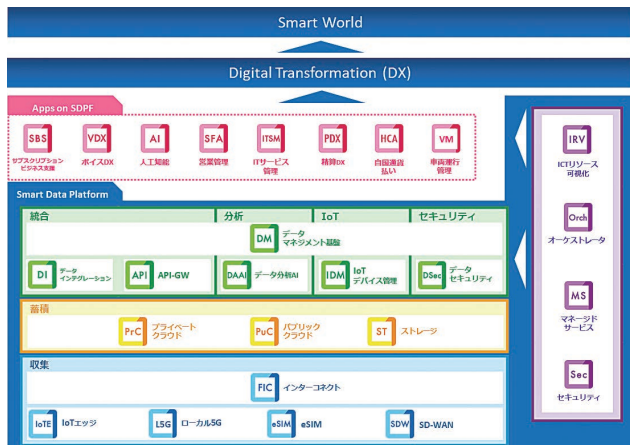


図1 「SDPF (Smart Data Platform)」の全体像

私どものSDPFのコンセプトと合致するものがあります。そのため、早くからMistのWi-Fiソリューションには注目しており、NTT Comの付加価値サービスとしてお客様に提供してきました。

AIを活用してネットワーク環境とユーザー体感品質を最適化

ハジェラ Mistは以前からUXの重要性を認識し、そのためのAIエンジン「Marvis」を搭載しています。このMarvisをベースに強力なデータ分析を行う「Premium Analytics」といったサービスを含めた「Juniper Mist AIドリブンエンタープライズソリューション」を提供しています。

これにより有線、無線、WANを含めたエンド・ツー・エンドのネットワーク環境とUXの最適化を実現します。しかもコントローラ機能は、独自のアジャイル型マイクロサービスアーキテクチャに基づき「Mist Cloud」上に実装されている

ため、新たにハードウェアなどを導入していただく必要はありません。

佐々倉 確かに、エンドポイントのワイヤレスからエンド・ツー・エンドでセキュリティを含めたAIドリブンのサービスを統合的に提供するJuniper Mistは、SDPFのデータ収集・蓄積の基盤として活用できる可能性があります。私どもも、Wi-Fiソリューションだけでなく、ネットワークと一体化したサービスラインナップとしてメニュー化することも検討したいと思います。

ハジェラ AIを活用したお客様サポートを提供しているのは、世界中でジュニパーだけです。Juniper MistのMarvisやPremium Analytics、Wired

Assurance 2.0といったAIドリブンの各種機能やサービスはNTT ComさんのSDPFをよりパワフルにできると確信しています。

with コロナの状況下で有効な「Enterprise@Home」

ハジェラ 最近の代表的なユースケースとして、世界中でニーズが急拡大しているCOVIT-19（新型コロナウイルス）対応の「Enterprise@Home」をご紹介します（図2）。これは、AIドリブンエンタープライズにおけるリモートワーク（テレワーク）ソリューションで、企業LANを従業員の自宅に延伸するものです。Mist AP（アクセスポイント）を自宅に設置するだけでAIドリブンWi-Fi環境を簡単に導入でき、管理者は「Mist Edge」を通じて企業LANの一部として従業員の自宅環境を管理できます。特に、無線LANに加えIP電話を有線で接続することも可能なことから、従業員のコールセンター業務のリモートワーク化を支援するソリューションとして導入が拡大しています。

佐々倉 リモートワーク用に新しい環境を構築する際に、必要な機能がすべてソフトウェアベースで迅速に構築でき、しかもUXを高めることができるというのは理想的ですね。NTT Comのお客さまにもコールセンターを運営する企業が多数おります。コールセンター業務のリモートワーク化を検討していただく際に、オペレーターの方はもちろん電話をしてきたエンドユーザーの方にも優れたUXを提供できるというのは素晴らしい。ぜひ検討したいと思います。

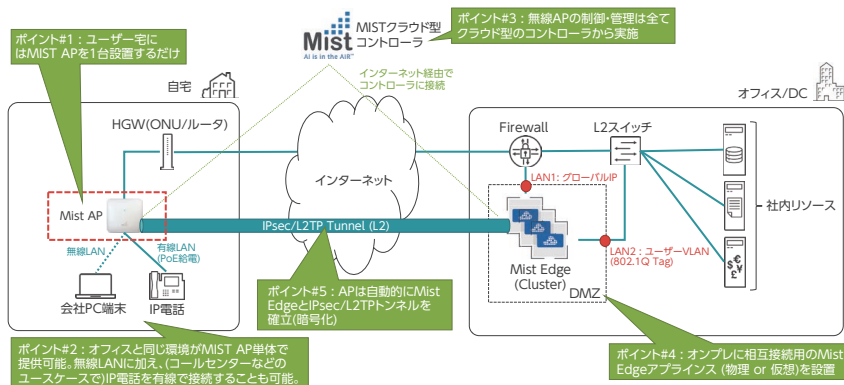


図2 企業LANを従業員の自宅に延伸する「Enterprise@Home」の概要